

令和 6 年度

柏市学力・学習状況調査
結果報告

令和 7 年 3 月

柏市教育委員会

目次

1	調査の概要	・・・	P1
	(1) 調査目的		
	(2) 調査対象・調査教科等		
	(3) 調査内容		
2	調査結果の概要	・・・	P2
	(1) 全体概要		
	(2) 経年変化		
	(3) 平均正答率		
	(4) 達成率		
	(5) 中央値		
3	教科別調査結果概要【小学校】	・・・	P4
	(1) 国語		
	(2) 算数		
4	「4つのC」	・・・	P16
	(1) 質問項目一覧		
	(2) 「4つのC」概況		
	(3) 「4つのC」クロス集計		

1 調査の概要

(1) 調査目的

児童生徒の学力・学習状況を把握し、各学校における学習指導及び生徒指導等の改善並びに教育委員会の施策・事業の改善等に資する。

(2) 調査対象・調査教科等

対象学年		人数	調査教科等
小学校	1 年	3617 人	国語・算数 生活・学習意識調査
	2 年	3542 人	
	3 年	3648 人	
	4 年	3626 人	
	5 年	3393 人	
	6 年	3472 人	
中学校	1 年	3013 人	生活・学習意識調査
	2 年	2959 人	
	3 年	3046 人	

(3) 調査内容

ア 教科に関する調査

(ア) 調査日

令和 6 年 11 月 21 日（木）～令和 6 年 12 月 5 日（木）の期間中に各学校が設定した日

(イ) 調査問題構成

- ・当該学年の 10 月末までの履修範囲
- ・学習指導要領に基づいた観点・領域などから学力を総合的に測定できる内容
- ・記述式を含む内容
- ・基礎及び応用の両面からの出題
- ・思考・判断・表現を測る問題については主に論述式での出題
- ・教科意識調査

イ 生活・学習意識調査

(ア) 調査日

柏市学力調査の実施日と同日。 ※中学生は、実施期間内の任意の日時に設定する。

(イ) 調査方法

一人一台端末を使用して、Google Forms へ回答する（CBT 方式）

(ウ) 調査内容

- ・学習意欲，学習習慣，生活習慣に関するアンケート調査
- ・小 1 から中 3 まで，ほぼ同一設問で調査
- ・調査項目のうち 18 項目は、「4 つの C」を測る指標として数値化

(エ) 「4 つの C」について

柏市教育委員会では、柏市第五次総合計画後期基本計画及び第 2 次柏市教育振興計画を受け、柏市の子供たちに付けたい力を「4 つの C」として示している。

本調査において、この「4 つの C」から見取れる児童生徒の現状を毎年度把握し、目指す姿に向けて各種取組を進めている。

① 見通す力 (Concept)	② 挑戦する力 (Challenge)
③ 関わり合う力 (Communication)	④ 自律する力 (Control)

2 調査結果の概要

(1) 全体概要（全国との差）

	国語	教科総合	基礎	応用
小	1年	≒	≒	≒
	2年	≒	≒	≒
	3年	≒	≒	≒
	4年	≒	≒	≒
	5年	≒	≒	≒
	6年	≒	≒	≒

	算数	教科総合	基礎	応用
小	1年	▽	≒	▼
	2年	≒	≒	▽
	3年	▽	▽	▼
	4年	▽	▽	▽
	5年	≒	≒	≒
	6年	≒	≒	≒

評価基準

◎ 上回る	4.0以上		
○ やや上回る	2.1	～	3.9
≒ ほぼ同等	－ 2	～	2
▽ やや下回る	－ 3.9	～	－ 2.1
▼ 下回る	－ 4.0以下		

(2) 経年変化

柏市の偏差値（全国）推移

小1	2025	2024	2023	2022
	令和7	令和6	令和5	令和4
国語	－	49.4	49.4	47.9
算数	－	47.8	47.8	46.0

小4	2025	2024	2023	2022
	令和7	令和6	令和5	令和4
国語	－	50.4	49.9	49.1
算数	－	48.7	48.4	47.9

小2	2025	2024	2023	2022
	令和7	令和6	令和5	令和4
国語	－	49.7	49.7	49.1
算数	－	49.1	49.0	47.8

小5	2025	2024	2023	2022
	令和7	令和6	令和5	令和4
国語	－	49.5	49.5	48.5
算数	－	49.6	49.2	49.0

小3	2025	2024	2023	2022
	令和7	令和6	令和5	令和4
国語	－	49.3	49.3	48.3
算数	－	48.3	48.8	47.9

小6	2025	2024	2023	2022
	令和7	令和6	令和5	令和4
国語	－	49.8	50.6	49.0
算数	－	50	49.7	48.8

(3) 平均正答率 (%)

		国語		算数	
			柏－全国の差		柏－全国の差
小学校	1 年	73.4	-1.1	83.0	-3.3
	2 年	84.8	-0.5	76.7	-1.7
	3 年	63.5	-1.3	69.0	-3.3
	4 年	65.8	0.7	69.0	-2.7
	5 年	65.4	-0.8	63.7	-0.9
	6 年	64.1	-0.4	70.3	0.0

(4) 達成率 (%)

達成率とは、その集団において、目標値（目標正答率）に達している児童の人数の割合のこと。
目標値とは、「おおむね満足」と言える水準として設定した、目標とする正答率 (%) である。

		国語		算数	
			柏－全国の差		柏－全国の差
小学校	1 年	70.3	-2.8	77.5	-5.1
	2 年	83.4	-0.2	72.7	-2.5
	3 年	67.3	-2.5	71.7	-5.7
	4 年	70.7	1.4	69.9	-4.2
	5 年	68.4	-1.3	66.5	-0.9
	6 年	66.6	-1.1	72.5	-0.7

(5) 中央値 (%)

中央値とは、その集団における正答率を大きい順に並べたとき、全体の中央に来る値
(つまり、真ん中の順位にあたる児童の正答率) のこと

		国語		算数	
			柏－全国の差		柏－全国の差
小学校	1 年	76.2	0.0	87.0	-4.3
	2 年	90.5	0.0	83.3	0.0
	3 年	68.4	0.0	75.0	0.0
	4 年	68.2	0.0	74.1	-3.7
	5 年	64.0	-4.0	65.4	-3.8
	6 年	66.7	0.0	74.1	0.0

3 教科別調査結果概要 【小学校】

(1) 国語 平均正答率 (%)

1年生 (小・国語)		柏市 (%)	全国	全国との差	※ 評価	
平均正答率 (%)	教科総合		73.4	74.5	-1.1	≒
	基礎		77.4	78.4	-1.0	≒
	応用		49.5	51.5	-2.0	≒
	出題形式	選択式	73.3	74.4	-1.1	≒
		短答式	85.5	86.4	-0.9	≒
		記述式	49.5	51.5	-2.0	≒
	観点	知識・技能	87.7	88.7	-1.0	≒
		思考・判断・表現	60.4	61.7	-1.3	≒
	領域	言葉・情報・言語文化	87.7	88.7	-1.0	≒
		話すこと・聞くこと	72.8	74.8	-2.0	≒
		書くこと	49.5	51.5	-2.0	≒
		読むこと	55.7	56.8	-1.1	≒

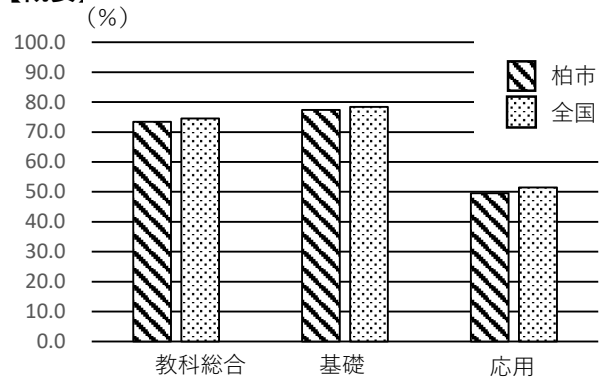
評価基準

◎ 上回る	4.0以上
○ やや上回る	2.1 ~ 3.9
≒ ほぼ同等	- 2 ~ 2
▽ やや下回る	- 3.9 ~ - 2.1
▼ 下回る	- 4.0以下

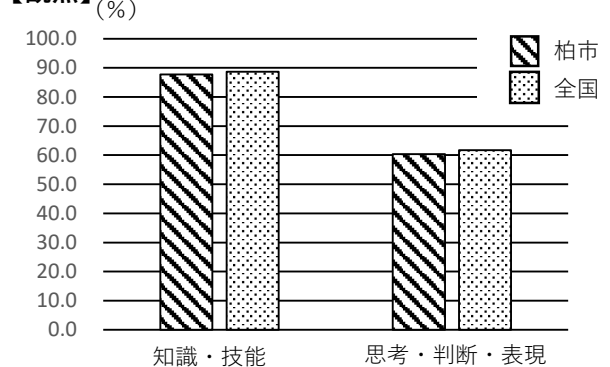
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に
照らし合わせて判定しています。

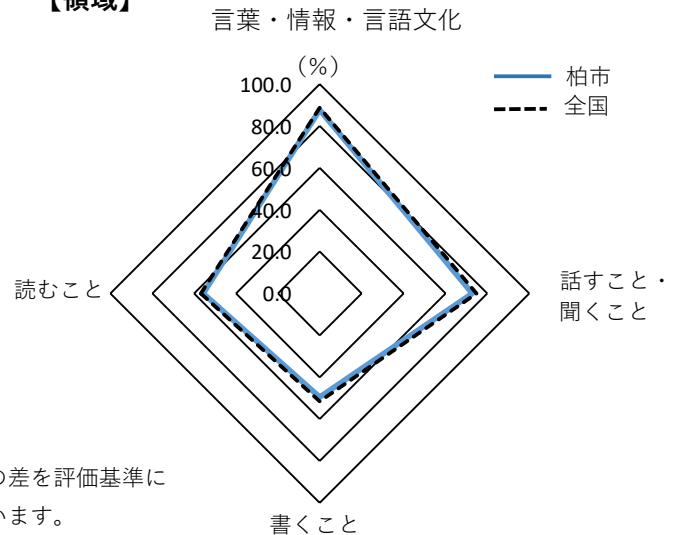
【概要】



【観点】



【領域】



【考察】

- ・総合的に全国平均正答率とほぼ同等である。
- ・領域「言葉・情報・言語文化」の中の、言葉の特徴や使い方に関することでは、絵に合う言葉をひらがなで書く設問の正答率が高く、定着がみられる。
- ・出題形式が記述式の設問は、無解答率が全国より高い。調べ学習での読書活動やインタビューといった言語活動の充実を図り、記述する活動に意欲的に取り組むことで、書くことへの抵抗を少なくさせたい。
- ・教科に関する質問調査では、「わけを書いたり、わかりやすい順序に気をつけたりして、文を書いています」の設問で肯定的な回答をした児童の方が、正答率の低い児童よりも、10ポイント以上平均到達スコアが高かった。日頃の授業でも、書いた文章に対して推敲させることが大切である。

2年生 (小・国語)		柏市 (%)	全国	全国との差	※ 評価	
平均正答率 (%)	教科総合		84.8	85.3	-0.5	≒
	基礎		86.1	86.6	-0.5	≒
	応用		76.9	77.4	-0.5	≒
	出題形式	選択式	80.1	80.4	-0.3	≒
		短答式	92.2	93.0	-0.8	≒
		記述式	74.3	75.3	-1.0	≒
	観点	知識・技能	86.9	87.8	-0.9	≒
		思考・判断・表現	82.9	82.9	0.0	≒
	領域	言葉・情報・言語文化	86.9	87.8	-0.9	≒
		話すこと・聞くこと	91.6	92.0	-0.4	≒
		書くこと	76.9	77.4	-0.5	≒
		読むこと	79.6	79.6	0.0	≒

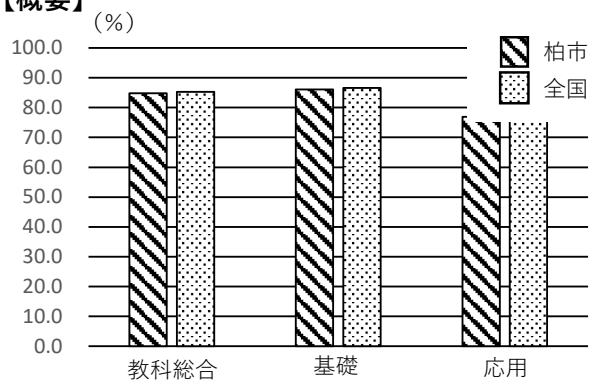
評価基準

◎ 上回る	4.0以上
○ やや上回る	2.1 ～ 3.9
≒ ほぼ同等	- 2 ～ 2
▽ やや下回る	- 3.9 ～ - 2.1
▼ 下回る	- 4.0以下

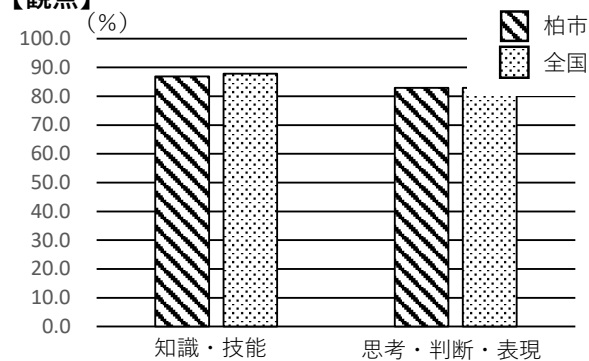
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に
照らし合わせて判定しています。

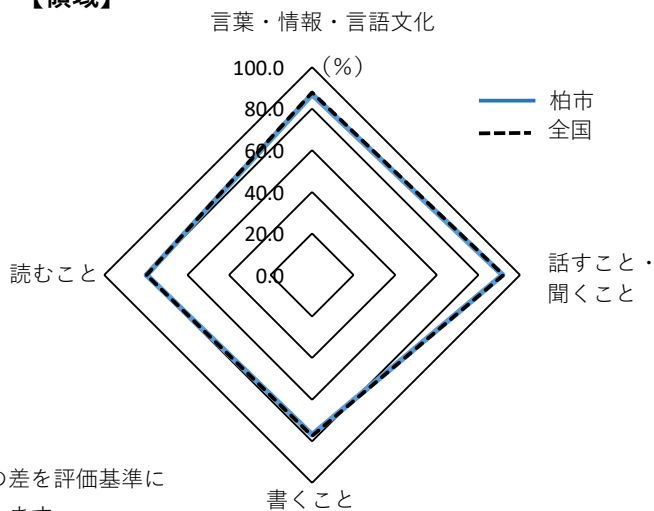
【概要】



【観点】



【領域】



【考察】

- ・総合的に全国平均正答率とほぼ同等である。
- ・漢字の読み書きは高い正答率で、定着がみられる。日頃から図書館活用などで本に親しむ経験を積み重ねていながら、漢字習得・活用も促していきたい。
- ・記述式問題では、解答できた児童と、課題が見られた児童の正答率の差が大きかった。場面の様子を読み取り、想定される発言を書く問題では、全国に比べて無解答率も高かった。日頃から授業の振り返りや短作文を書く時間を意図的にもち、どの子も書くことへの抵抗をもたせない工夫が必要である。
- ・言葉・情報・言語文化に関しては、句読点をマスの正しい位置に打つ問題の正答率が低い。お礼の手紙を書く活動等を設定し、句読点の場所を意識して丁寧に書くことを心がけさせたい。

3年生 (小・国語)		柏市 (%)	全国	全国との差	評価※	
平均正答率 (%)	教科総合	63.5	64.8	-1.3	≒	
	基礎	67.8	69.0	-1.2	≒	
	応用	47.2	49.1	-1.9	≒	
	出題形式	選択式	66.2	66.8	-0.6	≒
		短答式	73.0	75.0	-2.0	≒
		記述式	37.7	40.3	-2.6	▽
	観点	知識・技能	74.6	77.7	-3.1	▽
		思考・判断・表現	57.0	57.2	-0.2	≒
	領域	言葉・情報・言語文化	74.6	77.7	-3.1	▽
		話すこと・聞くこと	79.2	77.9	1.3	≒
		書くこと	39.7	42.1	-2.4	▽
		読むこと	49.2	49.7	-0.5	≒

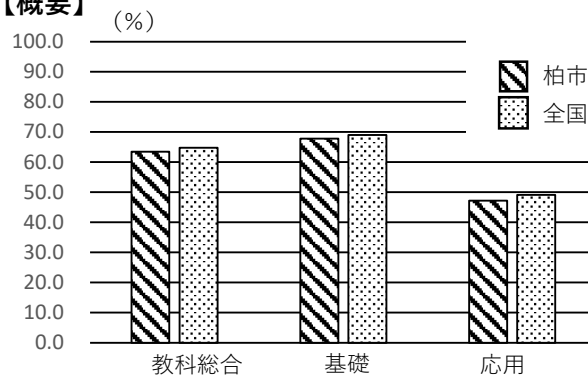
評価基準

◎ 上回る	4.0以上	
○ やや上回る	2.1 ~ 3.9	
≒ ほぼ同等	- 2 ~ 2	
▽ やや下回る	- 3.9 ~ - 2.1	
▼ 下回る	- 4.0以下	

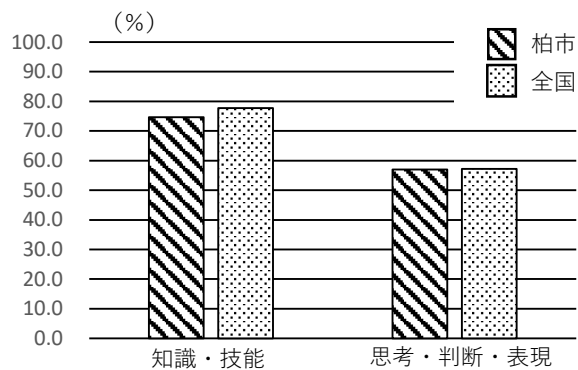
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に照らし合わせて判定しています。

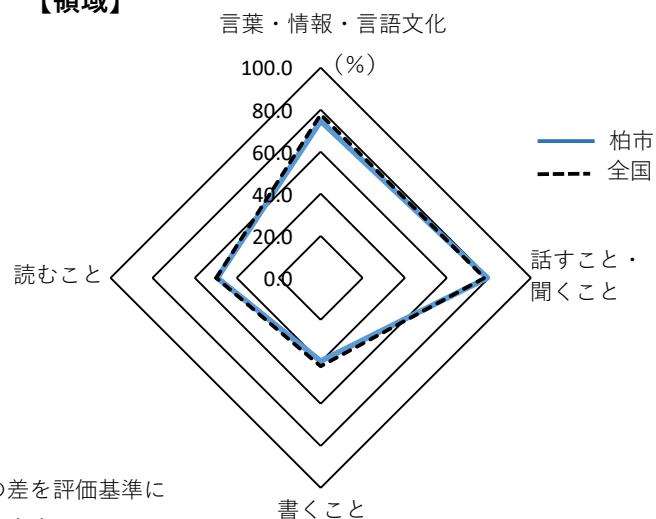
【概要】



【観点】



【領域】



【考察】

・全体的な正答率で、児童の二層化がみられる。記述式問題の無解答率は全国よりも高い。児童の「書くこと」への苦手意識が高いと考えられる。文章の内容をまとめた文の空欄に入る言葉を書く問題では、全国正答率を下回った。日頃の授業でも、条件に合わせて文章を書かせるなど、設問の形式に慣れることも必要である。

・話すこと・聞くことの領域である聞き取り問題の、話の組み立ての工夫を選ぶ問題では、平均正答率が全国より上回った。日頃の学習の中で、そう考えた理由を書いたり、分かりやすい順序に気をつけて文を書いたりしている成果が出ていると考えられる。

・言語に関することは、反対の意味に関する設問が全国より平均正答率が4.6ポイント低かった。前学年の既習事項を折に触れて思い出し、似た意味や反対の意味の言葉の理解を深めたい。

4年生 (小・国語)		柏市 (%)	全国	全国との差	評価※	
平均正答率 (%)	教科総合		65.8	65.1	0.7	≒
	基礎		70.0	69.0	1.0	≒
	応用		46.9	47.8	-0.9	≒
	出題形式	選択式	68.8	68.6	0.2	≒
		短答式	76.2	72.1	4.1	◎
		記述式	37.2	38.3	-1.1	≒
	観点	知識・技能	71.3	70.3	1.0	≒
		思考・判断・表現	62.1	61.5	0.6	≒
	領域	言葉・情報・言語文化	71.3	70.3	1.0	≒
		話すこと・聞くこと	80.1	80.0	0.1	≒
		書くこと	41.7	42.4	-0.7	≒
		読むこと	57.0	56.0	1.0	≒

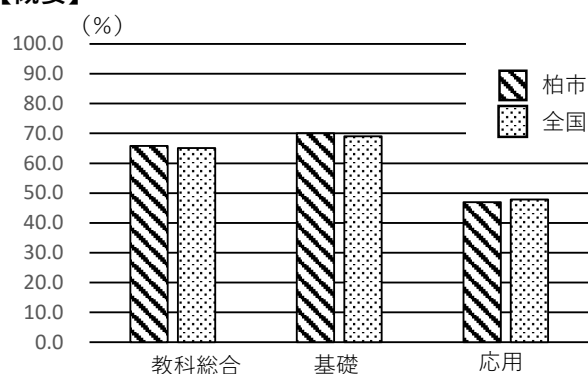
評価基準

◎ 上回る	4.0以上
○ やや上回る	2.1 ~ 3.9
≒ ほぼ同等	- 2 ~ 2
▽ やや下回る	- 3.9 ~ - 2.1
▼ 下回る	- 4.0以下

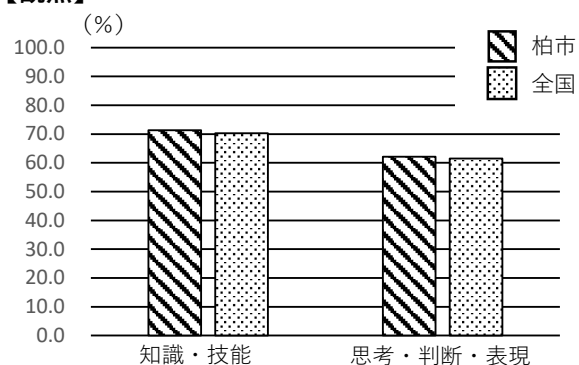
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に
照らし合わせて判定しています。

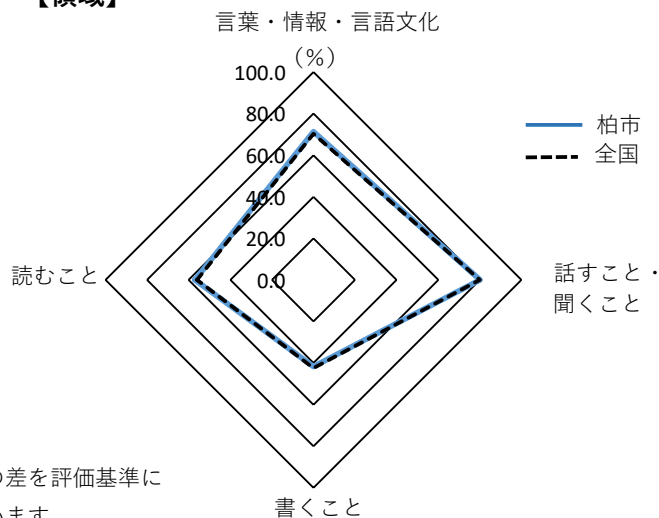
【概要】



【観点】



【領域】



【考察】

- ・総合的に全国平均正答率とほぼ同等である。ただし、無解答率が全国よりも高い。
- ・話すことや聞くことについては、全国とほぼ同等の正答率である。話し手が伝えたいことを落とさずに聞くことができていると捉えられる。
- ・書くことや読むことは目標値に達している。目的に応じて、複数の資料を比較して考えをまとめることに課題が見られたので、日頃から考えたことのみを伝え合うだけでなく、伝え合いの後に考えを再構成する等の言語活動を大切にしたい。
- ・読むことは、全国平均正答率と比較すると、文学的な文章、説明的な文章ともに上回っている設問が多い。中には5ポイント上回る設問もあり、叙述を基に段落相互の関係を捉えることがよくできていた。
- ・言語に関することは、ことわざの理解が弱い。日常の中で、複雑な文を簡潔に表すことわざを意図的に使い、語彙力を豊かにさせたい。

5年生 (小・国語)		柏市 (%)	全国	全国との差	評価※	
平均正答率 (%)	教科総合		65.4	66.2	-0.8	≒
	基礎		70.1	70.7	-0.6	≒
	応用		41.0	42.7	-1.7	≒
	出題形式	選択式	69.0	69.6	-0.6	≒
		短答式	74.2	74.6	-0.4	≒
		記述式	28.9	30.9	-2.0	≒
	観点	知識・技能	73.5	74.5	-1.0	≒
		思考・判断・表現	59.1	59.6	-0.5	≒
	領域	言葉・情報・言語文化	73.5	74.5	-1.0	≒
		話すこと・聞くこと	85.2	85.4	-0.2	≒
		書くこと	33.0	35.2	-2.2	▽
		読むこと	50.9	50.7	0.2	≒

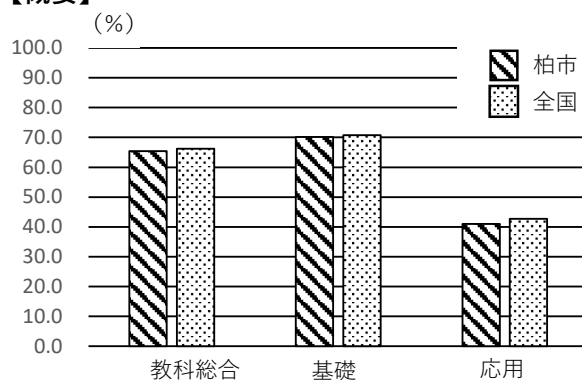
評価基準

◎ 上回る	4.0以上
○ やや上回る	2.1 ~ 3.9
≒ ほぼ同等	- 2 ~ 2
▽ やや下回る	- 3.9 ~ - 2.1
▼ 下回る	- 4.0以下

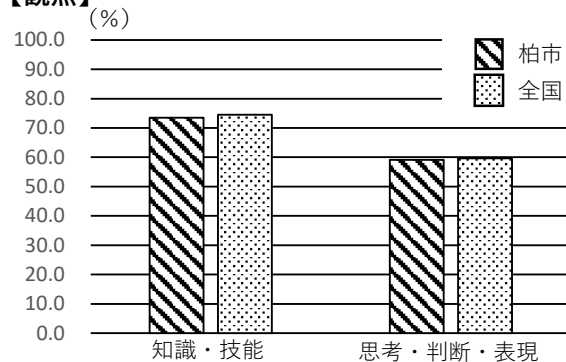
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に照らし合わせて判定しています。

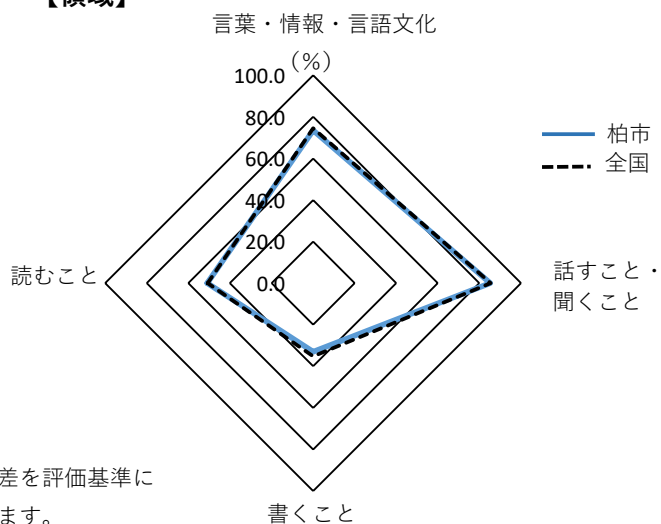
【概要】



【観点】



【領域】



【考察】

- ・総合的に全国平均正答率とほぼ同等である。ただし、無解答率が全国よりも高い。
- ・言語に関することは全国平均正答率とほぼ同等だが、敬語の設問は下回っている。敬語を正しく捉えられるよう日常的に遣う経験を積み重ねていきたい。
- ・話すことや聞くことについては、平均正答率が高い。
- ・読むことは平均正答率が低い。要点を落とさないようにして読み、書いていない答えを見つけられるように読む力を育みたい。
- ・書くことは全国平均正答率よりやや下回っており、複数の情報を読み取って、文にまとめる力に課題がみられる。問題解決場面における目的や意図に応じて必要な内容を整理する活動を重視し、考えを形成するに至った過程についても大事に振り返らせたい。

6年生 (小・国語)		柏市 (%)	全国	全国との差	※ 評価	
平均正答率 (%)	教科総合		64.1	64.5	-0.4	≒
	基礎		64.7	64.8	-0.1	≒
	応用		61.1	62.3	-1.2	≒
	出題形式	選択式	66.0	66.8	-0.8	≒
		短答式	68.2	66.2	2.0	≒
		記述式	50.1	51.9	-1.8	≒
	観点	知識・技能	63.3	63.9	-0.6	≒
		思考・判断・表現	64.7	64.8	-0.1	≒
	領域	言葉・情報・言語文化	63.3	63.9	-0.6	≒
		話すこと・聞くこと	78.9	78.7	0.2	≒
		書くこと	50.9	52.4	-1.5	≒
		読むこと	66.3	66.2	0.1	≒

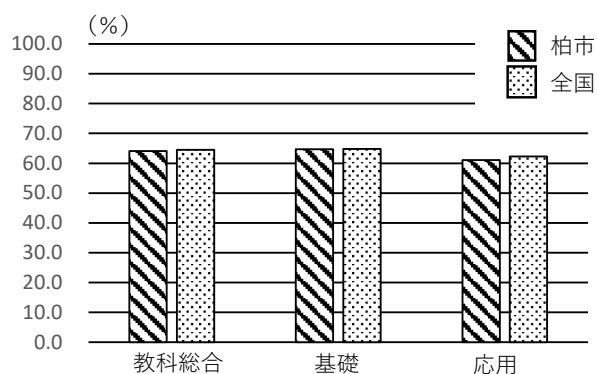
評価基準

◎ 上回る	4.0以上
○ やや上回る	2.1 ～ 3.9
≒ ほぼ同等	- 2 ～ 2
▽ やや下回る	- 3.9 ～ - 2.1
▼ 下回る	- 4.0以下

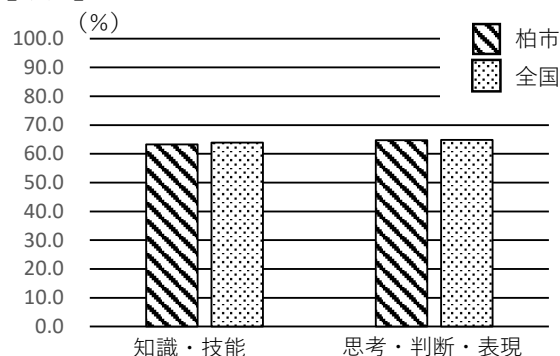
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に照らし合わせて判定しています。

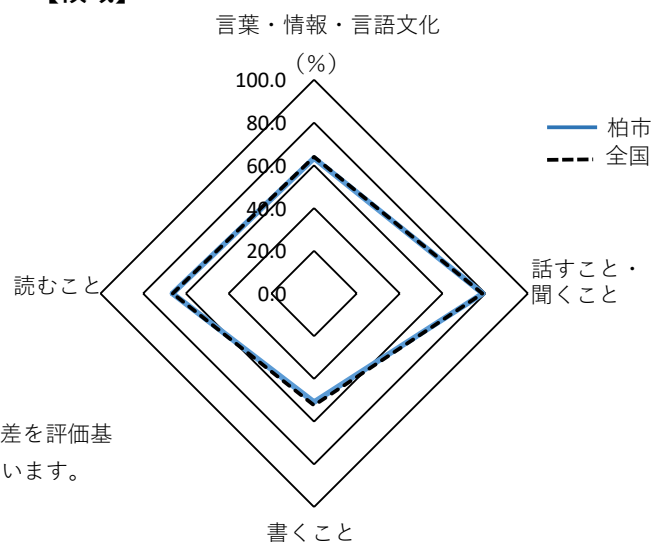
【概要】



【観点】



【領域】



【考察】

- ・総合的に全国平均正答率とほぼ同等であるが、無解答率が全国よりも高い。
- ・話すことや聞くことについては、図や資料を活用して考えが伝わるような表現の工夫について取り上げられており、日頃から伝え合いの際にそのような経験を積み重ねていくとよい。
- ・言語に関することは、和語・漢語・外来語に関する設問と漢字の成り立ちに関する設問の正答率が低い。語句の由来等に関心をもつことができるよう意識して指導に当たりたい。
- ・書くことや読むことは、複数の資料から必要な情報を整理してまとめる力が必要になる。様々な教科で、図やグラフ等から読み取ったことを話したり記述したりする活動を行っていきたい。

(2) 算数 平均正答率 (%)

1年生 (小・算数)		柏市 (%)	全国	全国との差	評価※
教科総合		83	86.3	-3.3	▽
基礎		88.8	90.7	-1.9	≒
応用		62.1	70.3	-8.2	▼
出題形式	選択式	88.9	90.8	-1.9	≒
	短答式	88.8	90.7	-1.9	≒
	記述式	62.1	70.3	-8.2	▼
観点	知識・技能	88.8	90.7	-1.9	≒
	思考・判断・表現	62.1	70.3	-8.2	▼
領域	数と計算	81	84.7	-3.7	▽
	測定	91.4	93.1	-1.7	≒
	データの活用	85.9	88.1	-2.2	▽

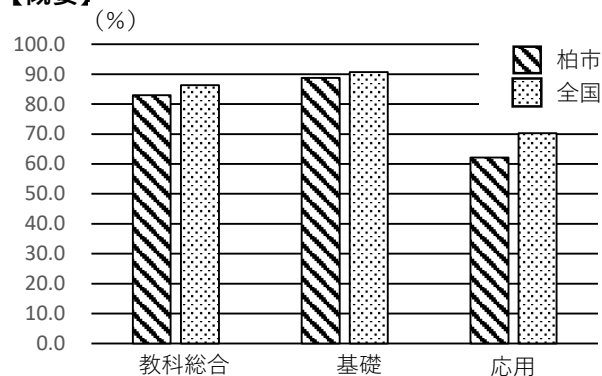
評価基準

◎ 上回る	4.0以上
○ やや上回る	2.1 ~ 3.9
≒ ほぼ同等	- 2 ~ 2
▽ やや下回る	- 3.9 ~ - 2.1
▼ 下回る	- 4.0以下

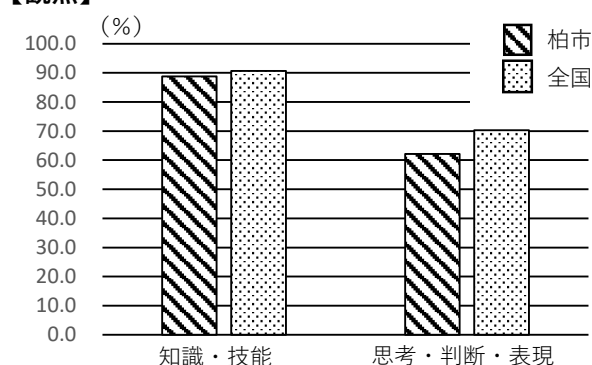
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に照らし合わせて判定しています。

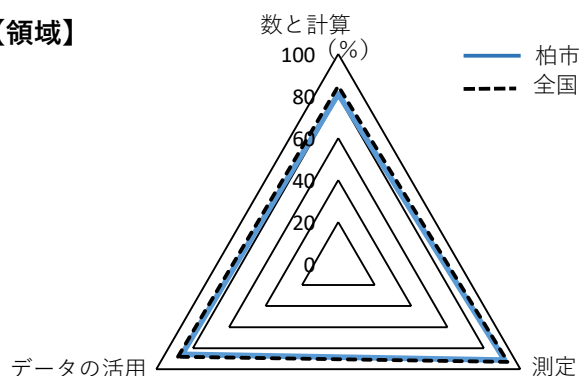
【概要】



【観点】



【領域】



【考察】

- ・総合的に全国平均正答率をやや下回っている。
- ・基礎は、全国平均正答率とほぼ同等。
- ・応用は、全国平均正答率を下回っている。(-8.2ポイント)

「応用」の4.場面を式に表し答えを求める設問と5.加法と減法の式になる問題を作る設問はいずれも記述式であり、前者は最大-8.5ポイント、後者は最大-15.4ポイントと下回っている。集団指導や習熟度別指導など、個に応じた指導を充実させることが大切である。

・特に引き算の文章問題でつまづきがみられる。引き算であるのに足し算にしまったり、答えが合っても文章に出てきた順番で式を作ってしまったたりすることがないように、図を使って問題を正しく理解する活動を充実させたい。

2年生 (小・算数)		柏市 (%)	全国	全国との差	評価※	
平均正答率 (%)	教科総合	76.7	78.4	-1.7	≒	
	基礎	81.1	82.6	-1.5	≒	
	応用	59.8	62.1	-2.3	▽	
	出題形式	選択式	77.1	79.1	-2.0	≒
		短答式	85.9	86.8	-0.9	≒
		記述式	57.6	60.2	-2.6	▽
	観点	知識・技能	81.1	82.6	-1.5	≒
		思考・判断・表現	59.8	62.1	-2.3	▽
	領域	数と計算	79.9	81.8	-1.9	≒
		図形	78.3	80.5	-2.2	▽
		測定	67.0	68.1	-1.1	≒
		データの活用	86.3	87.5	-1.2	≒

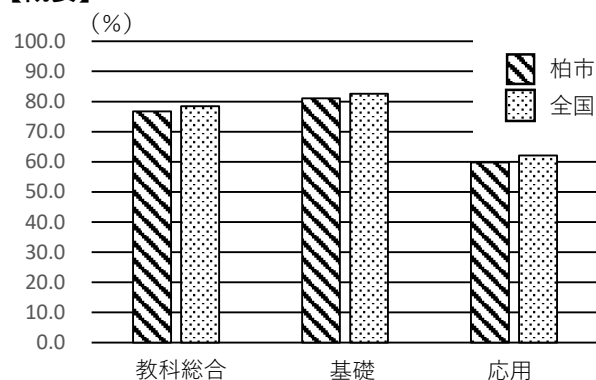
評価基準

◎ 上回る	4.0以上
○ やや上回る	2.1 ~ 3.9
≒ ほぼ同等	- 2 ~ 2
▽ やや下回る	- 3.9 ~ - 2.1
▼ 下回る	- 4.0以下

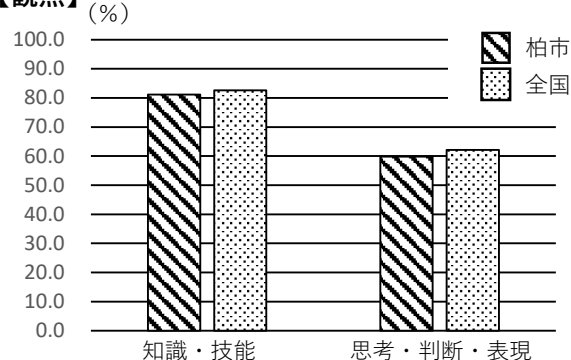
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に
照らし合わせて判定しています。

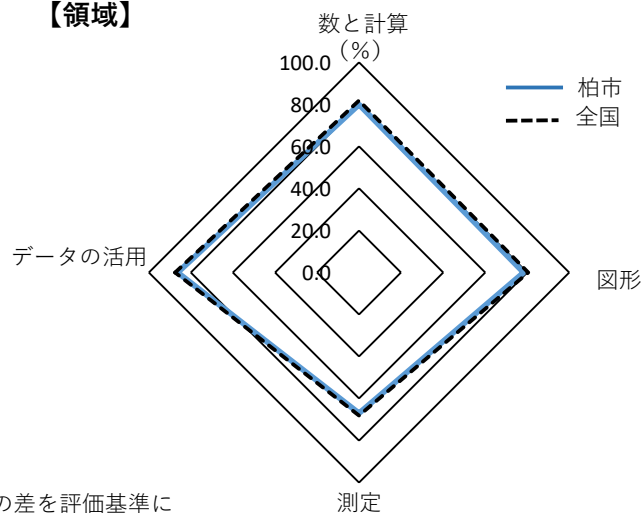
【概要】



【観点】



【領域】



【考察】

- ・総合的に全国平均正答率とほぼ同等である。
- ・基礎は全国平均正答率とほぼ同等で、応用はやや下回る。
- ・領域では、「図形」がやや下回っている。図形に使われている色板の枚数で正しいものを選ぶ設問であるが、1年生の既習事項であるため、前時や前単元での既習事項を折に触れて思い出し、学習が積み重ねていけるようにしたい。
- ・「応用」の登場人物の問題解決の考え方を読み取る設問の正答率が低い。数を空欄に当てはめる問題にもかかわらず、無解答率も高い。他者と考え方を共有したり、友達の考えを説明したりするような言語活動を取り入れていく必要がある。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」の調査においては、どの設問も肯定群のスコアが全国より低い。特に、自分の解き方を振り返ることが全国に比べてやや低い。友達との相違点を考えたり、授業の振り返りを大事にしたりするなど、自己の振り返り活動を意識的に行っていく必要がある。

3年生 (小・算数)		柏市 (%)	全国	全国との差	※ 評価	
平均正答率 (%)	教科総合	69.0	72.3	-3.3	▽	
	基礎	75.6	78.4	-2.8	▽	
	応用	44.1	49.1	-5	▼	
	出題形式	選択式	70.2	72.7	-2.5	▽
		短答式	77.3	81.9	-4.6	▼
		記述式	58.1	60.8	-2.7	▽
	観点	知識・技能	73.5	77	-3.5	▽
		思考・判断・表現	58.1	60.8	-2.7	▽
	領域	数と計算	76.4	80.1	-3.7	▽
		図形	65.4	70.8	-5.4	▼
測定		56.1	56.7	-0.6	≒	

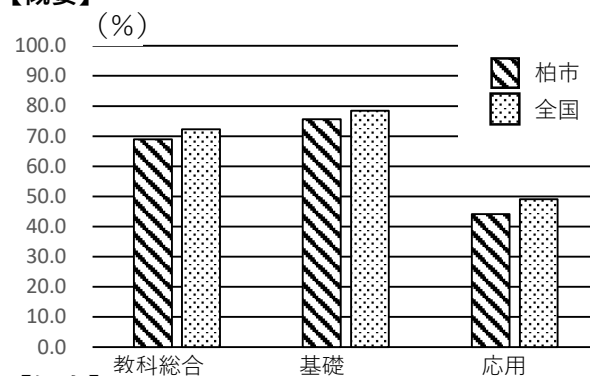
評価基準

◎ 上回る	4.0以上
○ やや上回る	2.1 ~ 3.9
≒ ほぼ同等	- 2 ~ 2
▽ やや下回る	- 3.9 ~ - 2.1
▼ 下回る	- 4.0以下

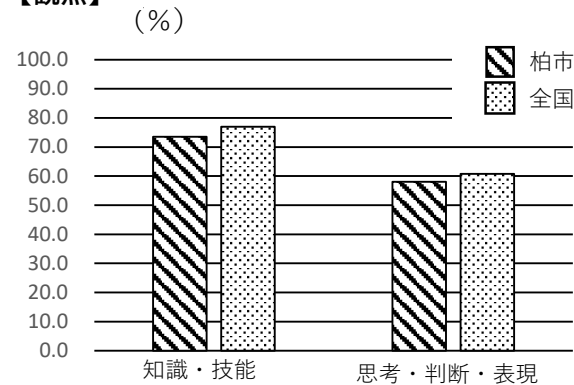
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に
照らし合わせて判定しています。

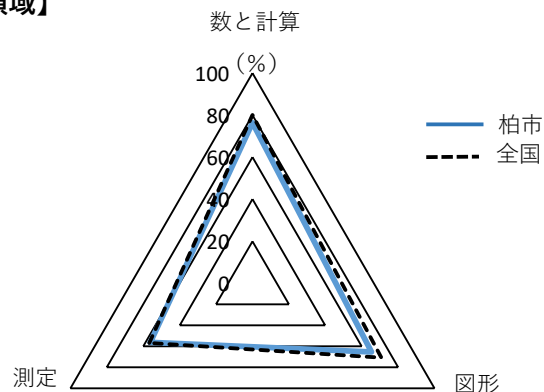
【概要】



【観点】



【領域】



【考察】

- ・総合的に全国平均正答率をやや下回る。
- ・「時刻と時間」「乗法」の問題は、全国平均正答率とほぼ同等だった。
- ・図形領域に課題が見られる。3年生の学習の大半が計算領域である中で図形領域の復習を要所要所で行ったり、既習事項を生活に活かしたりしながら、定着を図りたい。
- ・どの領域においても、上位層と下位層の正答率の差が大きい。下位層の解答を見ると、式で表されている計算は解くことができても、文章で表されると簡単な計算であっても正答率が下がり、無解答率が高い。習熟度別指導や個別指導など、個に応じた指導を充実させることが大切である。
- ・主体的に学習に取り組む態度に関する質問「自分の解き方を振り返って、良いところやわかりにくいところ、工夫しているところなどを考えるようにしている」に対しての肯定的な回答率が低い。普段の授業から、振り返りを大切にし、児童が自らの学びやつまづきを自覚できるようにする必要がある。

4 年生 (小・算数)		柏市 (%)	全国	全国との差	※ 評価	
平均正答率 (%)	教科総合		69.0	71.7	-2.7	▽
	基礎		71.5	74.1	-2.6	▽
	応用		58.4	60.9	-2.5	▽
	出題形式	選択式	77.2	78.3	-1.1	≒
		短答式	69.3	73.8	-4.5	▼
		記述式	42.0	44.9	-2.9	▽
	観点	知識・技能	73.8	76.6	-2.8	▽
		思考・判断・表現	52.4	54.6	-2.2	▽
	領域	数と計算	60.0	62.9	-2.9	▽
		図形	77.4	79.1	-1.7	≒
測定		60.6	66.2	-5.6	▼	
データの活用		90.0	91.4	-1.4	≒	

評価基準

◎ 上回る	4.0以上
○ やや上回る	2.1 ～ 3.9
≒ ほぼ同等	- 2 ～ 2
▽ やや下回る	- 3.9 ～ - 2.1
▼ 下回る	- 4.0以下

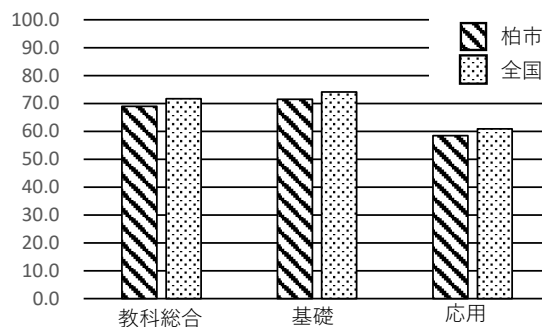
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に
照らし合わせて判定しています。

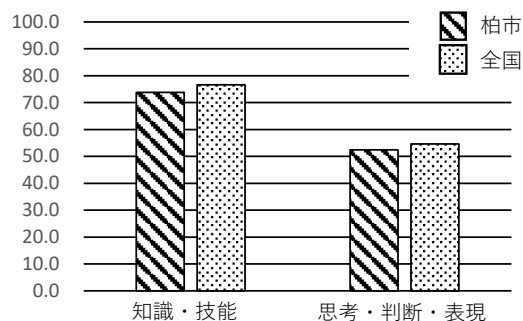
【考察】

- ・総合的に全国平均正答率をやや下回る。測定の領域は5.6ポイント下回る。
- ・図形とデータの活用の領域は、全国平均正答率とほぼ同等である。ただ、与えられた条件に合う二等辺三角形を作図する設問は、全国平均正答率を下回っている。二等辺三角形の性質を問う設問の方が正答率が高いため、作図の技能が不十分であることが考えられる。
- ・重さの単位換算やはかりの目盛りを読み取る設問は、全国平均正答率を下回っている。日常生活と結びつけながら、様々な単位に触れたり、計測道具を使ったりするなどして、量感を養っていくことが大切である。
- ・3位数×2位数、3位数÷1位数の余りのある計算など、基礎的な数と計算の領域において、課題がみられた。計算が複雑になるにつれて、身に付いていないままの単元があることが推測される。習熟度別指導や個別指導など、個に応じた指導を充実させることが必要である。

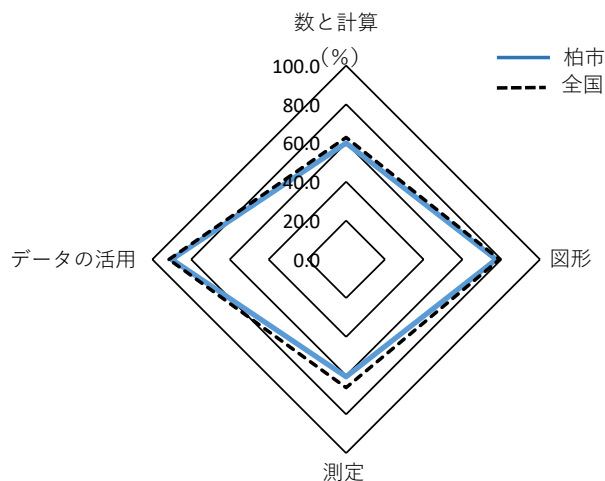
【概要】 (%)



【観点】 (%)



【領域】



5年生 (小・算数)		柏市 (%)	全国	全国との差	※ 評価	
平均正答率 (%)	教科総合	63.7	64.6	-0.9	≒	
	基礎	68.1	69.3	-1.2	≒	
	応用	53.8	54.0	-0.2	≒	
	出題形式	選択式	69.1	69.8	-0.7	≒
		短答式	64.2	65.5	-1.3	≒
		記述式	50.9	51.3	-0.4	≒
	観点	知識・技能	68.3	69.5	-1.2	≒
		思考・判断・表現	51.2	51.2	0.0	≒
	領域	数と計算	61.3	61.8	-0.5	≒
		図形	73.0	75.1	-2.1	▽
		変化と関係	75.8	76.5	-0.7	≒
		データの活用	55.3	56.1	-0.8	≒

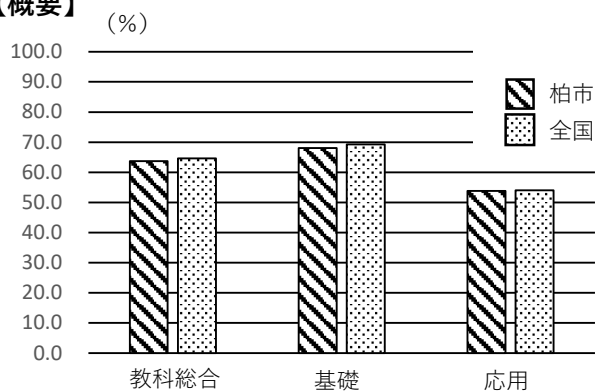
評価基準

◎ 上回る	4.0以上
○ やや上回る	2.1 ～ 3.9
≒ ほぼ同等	- 2 ～ 2
▽ やや下回る	- 3.9 ～ - 2.1
▼ 下回る	- 4.0以下

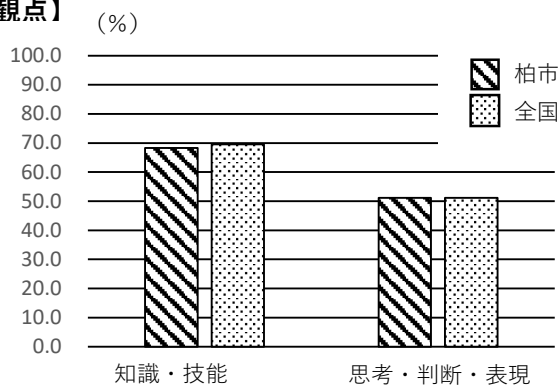
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に照らし合わせて判定しています。

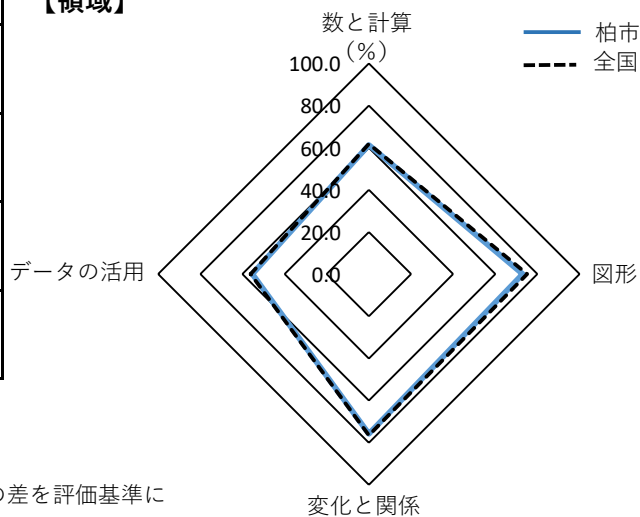
【概要】



【観点】



【領域】



【考察】

- ・総合的に全国平均正答率とほぼ同等である。
- ・図形領域の合同な図形の対応する辺を選ぶ設問では、約9割の児童が正答したが、直方体で垂直な辺を選ぶ設問では、全国平均正答率を下回った。授業では具体物を用いて空間のイメージを持たせ、辺の関係を理解できるような指導が必要である。
- ・数と計算の領域において、小数のわり算のあまりを考える設問や、計算の順序のきまりを理解して解く設問では、全国平均正答率を下回った。正確に計算できる力は非常に重要であるため、既習事項は折に触れて復習し、正しい計算の基礎的知識を身に付ける必要がある。

6年生 (小・算数)		柏市 (%)	全国	全国との差	※ 評価	
平均正答率 (%)	教科総合		70.3	70.3	0.0	≒
	基礎		72.7	72.9	-0.2	≒
	応用		64.3	64.1	0.2	≒
	出題形式	選択式	75.1	73.9	1.2	≒
		短答式	71.2	71.8	-0.6	≒
		記述式	49.9	51.0	-1.1	≒
	観点	知識・技能	74.1	74.1	0.0	≒
		思考・判断・表現	59.4	59.3	0.1	≒
	領域	数と計算	77.0	78.9	-1.9	≒
		図形	68.1	67.0	1.1	≒
		変化と関係	72.3	69.4	2.9	○
		データの活用	60.3	61.4	-1.1	≒

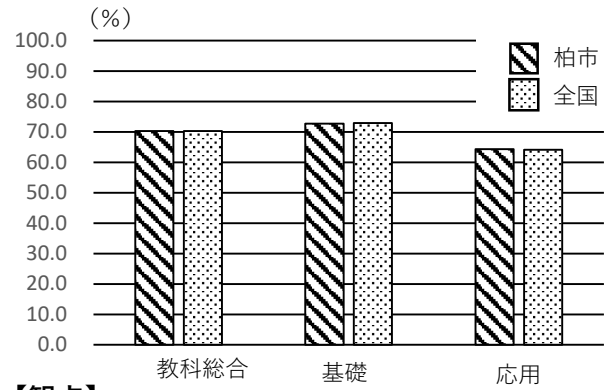
評価基準

◎ 上回る	4.0以上		
○ やや上回る	2.1	～	3.9
≒ ほぼ同等	- 2	～	2
▽ やや下回る	- 3.9	～	- 2.1
▼ 下回る	- 4.0以下		

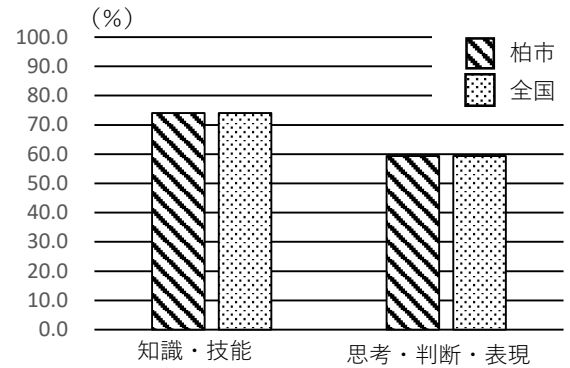
※評価

柏市と全国の平均正答率の差を評価基準に
照らし合わせて判定しています。

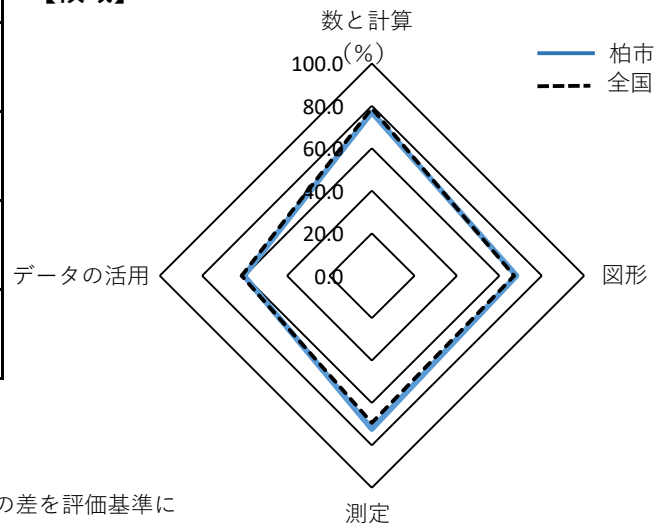
【概要】



【観点】



【領域】



【考察】

- ・総合的に全国平均正答率とほぼ同等である。
- ・図形領域は、展開図から円柱の底面の周の長さを求める設問で、全国平均正答率を上回っているが、全国的に正答率が低い設問であり、再度復習する必要がある。
- ・データの活用領域は平均を求めて、その理由を説明する設問が、全国的に低い正答率である。身の回りの事象をデータから捉え、問題解決に生かす力の育成を目指していきたい。
- ・変化と関係領域である、速さや道のりを求める設問や割合を求める設問は、全国平均正答率を上回っている。ただ、割合を求める設問は全国的に正答率が低いため、定着を図りたい。

4 「4つのC」

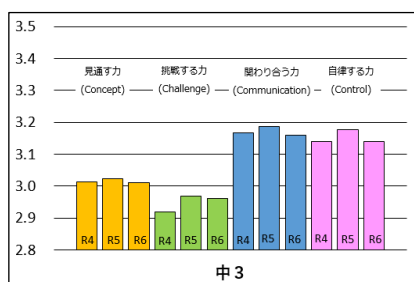
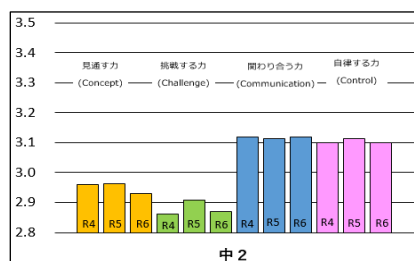
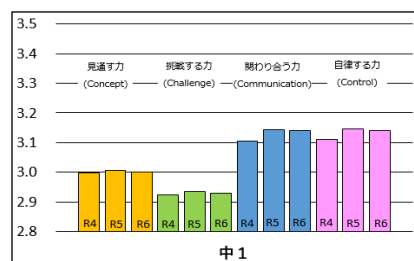
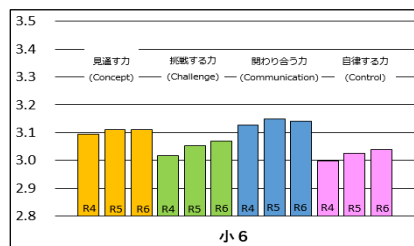
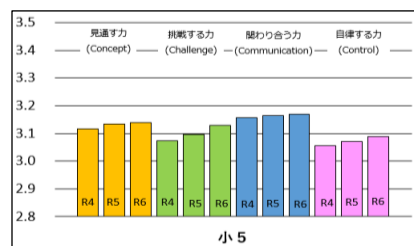
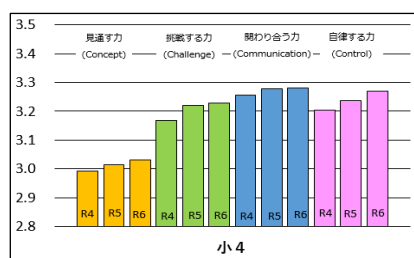
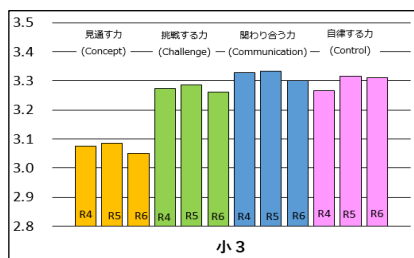
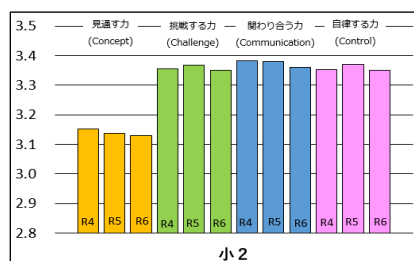
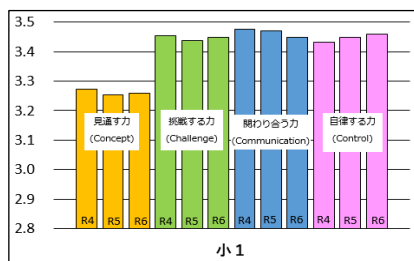
(1) 質問項目一覧

見出し	質問文			
	小学校1・2年生用	小学校3・4年生用	小学校5・6年生用	中学生用
見通す力(Concept)				
夢・目標	しょうらいのゆめはありますか。	しょうらいのゆめはありますか。	しょう来のゆめや目標を持っていますか。	将来の夢や目標を持っていますか。
計画	しゅくだいやべんきょうを、やるじかんをきめてやっていますか。	しゅくだいやべんきょうを、やる時間をきめてやっていますか。	ものごとに取り組む時、計画を立てて取り組んでいますか。	物事に取り組む時、計画を立てて取り組んでいますか。
振り返り	じゅぎょうのあと、わかったこと、わからなかったところがいえますか。	じゅぎょうのあと、わかったこと、わからなかったところがいえますか。	じゅ業のあと、わかったこと、わからなかったことを整理することができますか。	授業のあと、わかったこと、わからなかったことを整理することができますか。
分かる努力	わからないことがあったとき、ひとにきいたり、じぶんでしらべたりしていますか。	わからないことがあったとき、人に聞いたり、自分でしらべたりしていますか。	わからないことがあった時、人に聞いたり自分で調べたりしていますか。	わからないことがあった時、人に聞いたり自分で調べたりしていますか。
改善	なにかをやったあとに、もっとよいやりかたがないかかんがえていますか。	なにかをやったあとに、もっとよいやりかたがないかかんがえていますか。	ものごとに取り組んだ時、どうすればもっと良くできるか考えていますか。	物事に取り組んだ時、どうすればもっと良くできるか考えていますか。
挑戦する力(Challenge)				
目標への努力	そのゆめにむかってがんばっていますか。	そのゆめにむかってがんばっていますか。	しょう来の夢や目標に近づくために努力していますか。	将来の夢や目標に近づくために努力していますか。
粘り強さ	こまったときに、あきらめずにいろいろなやりかたをかんがえていますか。	こまったときに、あきらめずにいろいろなやりかたをかんがえていますか。	困難に直面しても、あきらめずにいろいろな方法を考えていますか。	困難に直面しても、あきらめずにいろいろな方法を考えていますか。
挑戦	むずかしいとおもうことでもちろんしていますか。	むずかしいと思うことでもちろんしていますか。	自分には難しいと思うことで、失敗をおそれないで挑戦していますか。	自分には難しいと思うことで、失敗をおそれないで挑戦していますか。
関わり合う力(Communication)				
相手の立場に立って考える力	がっこうで、ともだちのきもちをかんがえてこうどうしていますか。	学校で、友だちの気持ちを考えて行こうどうしていますか。	ふだんの生活の中で、相手の立場・気持ちを考えて行動していますか。	普段の生活の中で、相手の立場・気持ちを考えて行動していますか。
思いやり	ともだちにやさしくしていますか。	友だちにやさしくしていますか。	人に思いやりの気持ちを持っていますか。	人に思いやりの気持ちを持っていますか。
伝える力	せんせいやともだちに、いいたいことをうまくはなすことはできますか。	先生や友だちに言いたいことをうまく話すことはできますか。	先生や友だちに伝えたいことをうまく説明することはできますか。	先生や友だちに伝えたいことをうまく説明することはできますか。
傾聴	はなしあいをするとき、ともだちのはなしをしっかりと聞いていますか。	話し合いをするとき、友だちの話をしっかりと聞いていますか。	話し合いをする時、相手の考えを最後まで聞いていますか。	話し合いをする時、相手の考えを最後まで聞いていますか。
相談する力	いやなことがあったときに、ひとにそうだんしていますか。	いやなことがあったときに、人にそうだんしていますか。	なやんでいること、こまっていたことがあった時、人に相談していますか。	悩んでいること、困っていることがあった時、人に相談していますか。
協働	クラスのもくひょうにむかって、せんせいやともだちといっしょにがんばることができますか。	クラスのもくひょうにむかって、先生や友だちといっしょにがんばることができますか。	クラス全体での目標達成や問題かい決に向かって、周りの人と協力することができますか。	クラス全体での目標達成や問題解決に向かって、周りの人と協力することができますか。
地域との関わり	がっこうでべんきょうしたことを、だれかのためにやくだてたいとおもいますか。	学校でべんきょうしたことを、だれかのためにやくだてたいとおもいますか。	学校などで学んだことを、地いきや社会のために役立てたいと思いますか。	学校などで学んだことを、地域や社会のために役立てたいと思いますか。
自律する力(Control)				
主体性	じぶんのことはじぶんでやろうとしていますか。	自分のことは自分でやろうとしていますか。	自分がすべきと思うことを自ら進んでやっていますか。	自分がすべきと思うことを自ら進んでやっていますか。
自己肯定感	じぶんのことがすきですか。	自分のことがすきですか。	自分のことが好きですか。	自分の長所・短所を含め、自分のことを受け入れることができますか。
規範意識	ルールをまもることができますか。	ルールをまもることができますか。	学校のきそくやクラスで決めたことについて、なぜそれが必要か、なぜ守らなければいけないかを考えることができますか。	学校の規則やクラスで決めたことについて、なぜそれが必要か、なぜ守らなければいけないかを考えることができますか。

(2) 「4つのC」概況

※ 4段階評価 4とてもあてはまる 3あてはまる 2あてはまらない 1まったくあてはまらない

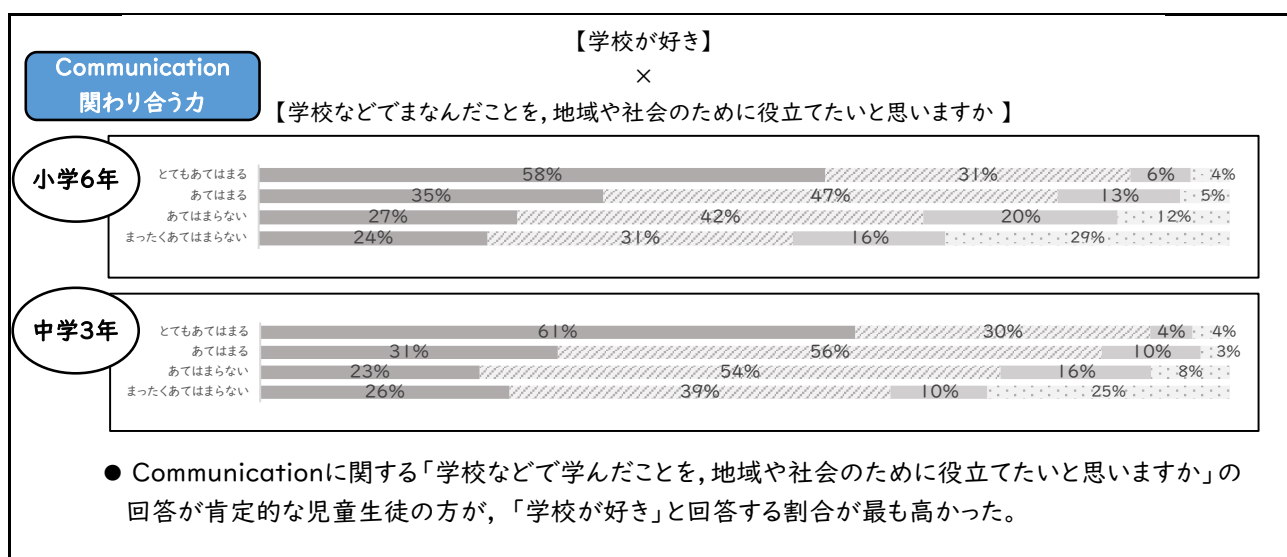
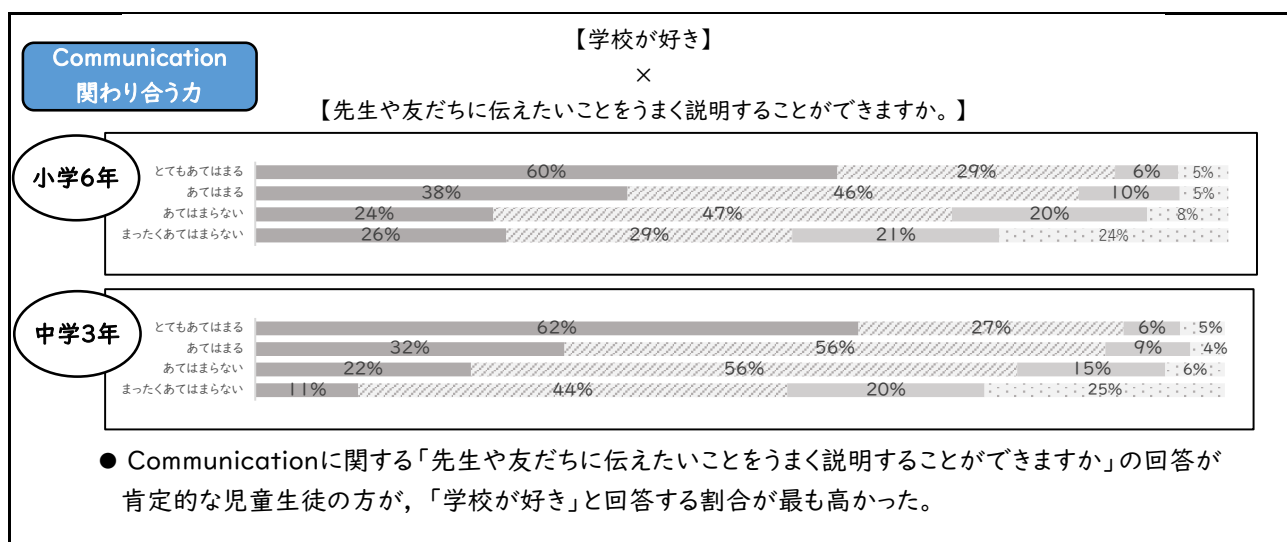
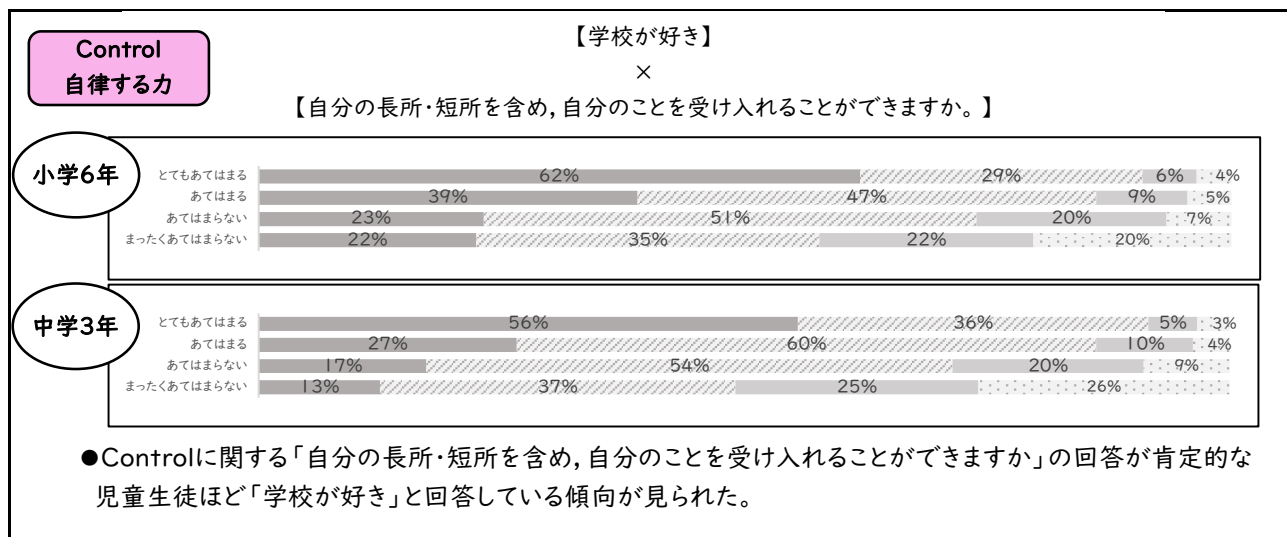
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
見通す力 (Concept)	R4	3.27	3.15	3.08	2.99	3.12	3.09	3.00	2.96	3.01
	R5	3.25	3.14	3.09	3.01	3.13	3.11	3.01	2.96	3.02
	R6	3.26	3.13	3.05	3.03	3.14	3.11	3.00	2.93	3.01
挑戦する力 (Challenge)	R4	3.45	3.35	3.27	3.17	3.07	3.02	2.92	2.86	2.92
	R5	3.44	3.37	3.29	3.22	3.10	3.05	2.94	2.91	2.97
	R6	3.45	3.35	3.26	3.23	3.13	3.07	2.93	2.87	2.96
関わり合う力 (Communication)	R4	3.48	3.38	3.33	3.26	3.16	3.13	3.11	3.12	3.17
	R5	3.47	3.38	3.33	3.28	3.16	3.15	3.14	3.11	3.19
	R6	3.45	3.36	3.30	3.28	3.17	3.14	3.14	3.12	3.16
自律する力 (Control)	R4	3.43	3.35	3.26	3.21	3.06	3.00	3.11	3.10	3.14
	R5	3.45	3.37	3.32	3.24	3.07	3.03	3.15	3.11	3.18
	R6	3.46	3.35	3.31	3.27	3.09	3.04	3.14	3.10	3.14



4つのCの状況について

- ・小学校はどの学年も3.0以上の肯定的な回答が多い結果となった。
- ・中学1年生から2年生にかけて「見通す力」「挑戦する力」が低下する傾向がみられるが、どちらの項目も中学3年生になると上昇している。
- ・全体的に発達傾向がみられる。各学年でこの傾向を把握し、発達に応じてサポートしながら4つのCを育みたい。

(3) 「4つのC」クロス集計



【学校が好き】と【4つのCに関する質問】をクロス集計したところ、上記3つの項目で肯定的な回答をした子どもは「学校が好き」と回答する割合も高い。柏市の目指す子ども像とも関連する項目であり、これからの柏市の教育において重要な指標であると考えます。

令和6年度 柏市学力・学習状況調査結果報告

編集 柏市教育委員会 教育研究所

発行 令和7年3月